

10/22 東北薬科大学病院様 ……11月より MMWIN システムを利用して、東北大学病院のデータを
確認したいという要望があり、設置してある3台の端末の操作
確認を行うと同時に、患者紐づけ方法の操作案内も行いました。

PICK UP!

東北薬科大学病院への訪問終了後に、門前にあるカメイ薬局様・こうせい
薬局様・ひかり薬局様をそれぞれ訪問して、MMWIN の現状を報告し、東北薬科大学病院が今年度
中にデータアップが可能になること、加入患者数が8,000名を超えたこと等を報告し、今後の取り
組みをお願い致しました。ひかり薬局様では、受付にMMWINの表示(健康共通IDカード提出)
がありました。加入者さんがIDカードを持って来られたとのことでした。

10/19 みやぎ県南中核病院様 …MMWIN システムの運用についてのご説明と、患者紐づけ方法の
操作案内を行いました。

10/14 公立刈田総合病院様 ……MMWIN システムの運用についてのご説明と、患者紐づけの担当
部署、パンフレットの設置場所などを検討して頂きました。

10/2 栗原市立栗原中央病院様

…MMWIN 運用開始に向けた全体説明会を行いました。本格運
用に向け、院長を含め50名以上の方にご参加頂きました。
説明会とは別に、医事課の方に患者紐づけ方法の操作案内も
行いました。



10/1 宮田利府クリニック様
…院長、副院長が交代になったので、再度 MMWIN システムに
ついて説明をしました。システム、運用についてご理解を頂き
引き続きの利用と職員登録をして頂くことになりました。

9/29 NTT東日本東北病院様 … 連携室の職員の方々に、患者紐づけ方法の操作案内、患者加入
案内、運用の説明を行いました。

9/24 東北労災病院様 ……院内幹部会議にて説明会を行いました。患者登録や、受付の案
内ボードの文言について等、活発なご意見を頂きました。

9/18 アルパイン川崎様 ……患者加入の方法、患者紐づけの方法、現在の加入患者数などを
ご説明致しました。

9/18 仙台医療センター様 ……患者紐づけ方法の操作案内を行いました。

9/17 金上病院様 ……患者紐づけ方法の操作案内を行いました。事務の方に実際に操作
して頂き、意外と簡単ですねという感想を頂きました。



発行：一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

〒980-0021 仙台市青葉区中央 3-10-19 仙台 KY ビル 7 階 (一時移転先) <http://mmwin.or.jp>
サポートセンター TEL : 022-399-6880 サポートセンター E-mail : support@mmwin.or.jp
事務局 TEL : 022-395-6312 FAX : 022-395-6313 E-mail : office@mmwin.or.jp

当協議会からのメールを受信できない場合がございますので、「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。
『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。
※本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。

MMWIN



バックアップデータ患者数が 300万人を突破しました!



病院からのアップロード(バックアップ)が急速に進んでおり、
バックアップデータ患者数が300万5,000人を超え、MMWIN
中長期計画での目標値(平成28年3月末時点)300万人をクリア
しました。平成26年度に情報アップロードシステム(バックアップ
システム)を構築した県南県北地区の病院でも、順調にアップロード
が開始されております。今年度の事業で、新たに14病院の構築が
予定されており、更なる情報の集約が期待できます。

今後とも、MMWINをご活用ください!!

データバックアップ用アップローダー稼動状況

- | | | |
|--------------|-------------|--------------------|
| ● 東北大学病院 | ● 公立志津川病院 | ● 大崎市民病院 |
| ● 仙台医療センター | ● 気仙沼市立本吉病院 | ● 大崎市民病院
鳴子温泉分院 |
| ● NTT 東北病院 | ● 石巻赤十字病院 | ● 大崎市民病院
鹿島台分院 |
| ● 気仙沼市立病院 | ● みやぎ県南中核病院 | ● 大崎市民病院
岩出山分院 |
| ● 栗原市立栗原中央病院 | ● 坂総合病院 | |
| ● 金上病院 | ● 公立刈田総合病院 | |
| ● 国民健康保険川崎病院 | | |

今年度構築予定病院(14病院)

- | | | |
|--------------|------------|------------------|
| ● 東北労災病院 | ● 仙台オープン病院 | ● 仙塩総合病院 |
| ● 東北薬科大学病院 | ● 東北公済病院 | ● 仙塩利府病院 |
| ● JCHO 仙台病院 | ● 総合南東北病院 | ● 赤石病院 |
| ● 宮城県立がんセンター | ● 公立黒川病院 | ● 登米市立
登米市民病院 |
| ● 宮城県立こども病院 | ● 中嶋病院 | |

遠隔カンファレンスシステムと画像連携システムの違いとは？

先日、MMWIN が提供している遠隔カンファレンスシステムと画像連携システムの違いはなんでしょう？とのご質問をいただきました。遠隔カンファレンスシステムでも、双方で画像を同時に見て情報共有が今すでにできるが、現在検討中と聞いている画像連携システムでは何をするのでしょようか、という内容でした。

ここでは、主に画像連携システムがどのようなものかをご説明します。本年初めに、地域医療福祉情報連携を行うにあたって、どのような情報が共有されれば臨床的に有用かというアンケートを行いました。診断名、薬剤情報、検査結果などとならんで、画像情報はほとんどすべての医師が「必要」と回答頂きました。

しかし、画像連携システムといっても、大掛かりで高額なものから簡易的で廉価なものまで様々な考え方があります。参加施設で発生する各種画像を MMWIN のサーバーにバックアップして共有する場合、各参加施設内の PACS と類似した便利さがもたらされますが、構築・維持費用は高価となります。参加施設の PACS 等にある画像を、バックアップはせずに参照する画像連携システムの場合は、ある程度安くなりますが、通信速度が遅くなるなどの欠点が生じるかもしれません。参加施設で発生する画像のうち、キーとなる少数の画像のみを MMWIN サーバー等に保管して共有するシステムでは、廉価にできる可能性がありますが、キー画像をどのように選択するのかなどの問題解決が必要です。

救急現場で発生する画像を、たとえば研修医が、院外の指導医や専門医に迅速に相談するためのシステムがありますが、それとの連携に対する希望も多くあります。

いずれにしても、画像連携システムは、程度の差はありますが、「毎日の病棟や外来などで多くの医療関係者が、いつでもどこからでも画像を参照できる」状況にできるだけ近いものでないと、臨床的な有用性は乏しくなります。

一方、遠隔カンファレンスシステムで共有される画像情報は、カンファレンス中にパソコンなどに取り込んでおいた数枚から数十枚の画像を呈示してディスカッションしますが、カンファレンスが終われば画像共有は出来なくなります。画像共有するために、遠隔カンファレンスシステムが備え付けられた特定の部屋にいかなければならないことなども含め、臨床的に使える画像連携はできません。

現在 MMWIN では、どのような画像システムがもっともふさわしいか様々な方面から検討し、早期導入を目指しています。

患者さんの声

実際に寄せられた生の声をお届けします。

通院している病院で、診察の時にカードを提出したが、Dr と Ns に『何ですか？』と逆に質問されてしまった。連携先の病院の情報を共有して欲しかったのに、これでは何のために加入したのかわからない！

健康共通 ID カードの使い方が分かりません。

稼働している施設であっても、システムを利用出来なかったという報告や、届いたカードをどうしたら良いか、お問い合わせを頂くことがございます。現在は、カードを送付する際に、その後の使用についてのご説明を同封しております。また、施設内でのシステム利用の周知につきましては、皆さまのご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

稼働状況

データで見る MMWIN の稼働状況です。

データ推移

		病院	診療所	保険薬局	介護福祉施設	合計
バックアップデータ患者数 (単位：人)	10/9	2,005,754	100,504	597,219	10,575	2,714,052
	10/16	2,282,469	102,454	601,298	10,660	2,996,881
	10/23	2,283,984	104,079	606,348	10,693	3,005,104
紐づけ患者数 (単位：人)	10/9	6,008	1,442	369	117	7,936
	10/16	6,158	1,463	372	117	8,110
	10/23	6,399	1,473	396	120	8,388
接続確認済施設数		66	118	185	103	472
バックアップ稼働施設数		19	52	176	38	285
稼働施設割合		29%	44%	95%	37%	60%

大崎市民病院、鹿島台分院、岩出山分院、鳴子温泉分院、田尻診療所、健康管理センターのアップロードが本格稼働しました。

機能紹介

MMWIN システムの機能をご紹介します。ぜひお役立てください！

診療情報参照システム（診療情報連携基盤）

各施設で行った検査結果や処方内容、治療経過や介護などの情報を参照することができます。下記は、実際の画面（時系列表示）です。一目で経緯を俯瞰することができます。是非、ご活用ください。

The screenshot shows a medical history timeline interface. On the left, there is a list of medical conditions and treatments, including '急性腎炎', '慢性腎臓病', '糖尿病', and '注射' (injections). The main area displays a timeline from 1984 to 2015. A callout box points to a specific event in 2010, stating '東北大学病院の診断名、処方、注射' (Diagnosis, prescription, and injection at Tohoku University Hospital). Another callout points to a specific event, stating 'イベントをクリックすると内容がポップアップ' (Clicking the event causes a popup). The popup shows details for an injection: '【注射】 記載日: 2010/07/30', '注射せん番号: 107307002265', '01.001) ラクテック注500mL 1バイアル', '注射種別: 一般', '投薬量: 1バイアル', '経路: 静脈内', '投薬装置: 点滴ポンプ', '投薬方法: 挿入', '02.001) ソルテム3A輸液500mL 1バイアル', '注射種別: 一般', '投薬量: 1バイアル', '経路: 静脈内', '投薬装置: 点滴ポンプ', '投薬方法: 挿入'.